

## 【実施要項】 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修

本研修は、看護補助体制充実加算の施設基準に対応した研修です。

研修目的	自施設における看護補助者と協働のための体制整備ができる
研修目標	効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育および就労環境について理解し、自施設における看護補助者と協働のための体制整備の一助となる
講義内容	<p>【講義・演習】</p> <p>①看護補助者の活用に関する制度の理解</p> <p>②看護職員との連携と業務整理</p> <p>③看護補助者の雇用形態と処遇等</p> <p>④看護補助者の育成・研修・能力評価</p> <p>⑤看護補助者体制整備に関する自施設の現状分析・課題抽出(演習)</p> <p>(個人ワーク、グループワーク、発表)</p>
日時 場所	<p>日時:令和4年9月19日(月・祝)</p> <p>時間:10:00~16:30(受付9:40~開始)</p> <p>場所:イムス池袋会議室</p> <p>東京都豊島区東池袋 1-33-8 NBF 池袋タワー13階</p>
対象者	<p>看護管理者 定員 40名(定員を超えた場合は調整させていただきます)</p> <p>※『看護補助体制充実加算』対象の為、修了証書が発行されます</p>
受講料	3,000円(税込み)
申込方法	<p>【申込書類】 申込書</p> <p>【申込期限】 令和4年8月31日(水)必着</p> <p>【送付先】 〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 3-3-2</p> <p>IMSグループ本部事務局 看護部 佐々木・目時 あて</p>
決定通知	<p>所属施設住所のご本人様宛に、郵送にて受講可否を通知いたします。</p> <p>受講者には、振込方法、受講に関するご案内をお知らせいたします。</p>
備考	<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催を中止する場合がございます。</p> <p>予めご了承ください。</p>

# 2022年度 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修(1日研修)

～ヘルスケア提供システムにおける連携強化を実現するために～

【研修目標】 効率的な業務運営と良質な看護サービスの提供を目的とした看護補助者の業務範囲や教育および就労環境について理解し、自施設における看護補助者と協働のための体制整備の一助となる

時間	科目名(テーマ)/内容	期待される成果	講師
	オリエンテーション		
講義 70分	<b>1. 看護補助者の活用に関する制度の理解</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>急性期看護補助者体制加算をめぐる医療の動向</li> <li>看護補助者を雇用し活用する際の法的課題</li> <li>看護補助者の制度的位置づけ</li> <li>看護管理者が整備すべき教育とその仕組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者をなぜ活用推進することが必要なのかについて述べられる</li> <li>看護業務を看護補助者と役割分担するための法的課題を理解できる</li> <li>看護管理者が自施設で整備すべき教育体制について論点を整理できる</li> </ul>	IMSグループ 本部事務局 看護部  認定看護管理者 長谷部 好信
講義 100分	<b>2. 看護職との連携と業務整理</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者の役割の明確化と業務標準化の推進</li> <li>実践の場における看護職と看護補助者の協働体制</li> <li>看護チームとしての情報共有のあり方</li> <li>自施設の課題抽出および共有 小ワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者が関わる対象としての患者、および業務と看護補助者が獲得すべき能力について明らかにできる</li> <li>実践の場における適切な共同体制と業務委譲の判断について理解できる</li> <li>看護チームにおける情報共有の内容および留意事項について理解できる</li> </ul>	新東京病院 副看護部長 石井 素子
講義 100分	<b>3. 看護補助者の雇用形態と処遇等</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護管理者の役割と看護補助者の組織的な位置</li> <li>チーム医療を担う一員としての体制づくり</li> <li>就業についてモチベーションが維持できる環境体制の整備</li> <li>安全に就業できる職場環境の整備</li> <li>看護補助者の雇用体系と処遇</li> <li>自施設の課題抽出および共有 小ワーク</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者の組織的位置づけについて述べられる</li> <li>就業についてモチベーションが維持できる環境および処遇について理解できる</li> <li>安全に就業できる職場環境や整備について方策を述べられる</li> </ul>	
演習 130分	<b>4. 看護補助者の育成・研修・能力評価</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育体制</li> <li>教育内容</li> <li>実施方法</li> <li>評価方法</li> <li>自施設の課題抽出及び共有 小ワーク</li> <li>演習の説明</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者としての責務や業務範囲に応じた適切な教育内容を選定するイメージができる</li> <li>看護補助者の背景や意識などの準備性に 応じた教育方法・評価方法について理解 できる</li> </ul>	ファシリテーター  イムス富士見 総合病院  副看護部長 戸田 桂
演習 130分	<b>5. 看護補助者体制整備に関する課題に対する対策案の作成</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者と協働のための体制整備に関する課題を講義2～4の取り組みに関して、自施設の課題を抽出し、グループで情報共有および整理</li> <li>対策案の立案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者体制整備の推進に関してPDCAサイクルの視点で方策を見出すことができる</li> <li>看護補助者体制整備の一連のプロセスを他施設の看護管理者とともに検討し、多様な方策に気づくことができる</li> </ul>	IMSグループ 本部事務局 看護部  看護部長 佐々木 加奈子

【備考】研修を修了した者には、研修修了証を交付する



# 看護補助者の活用推進のための看護管理者研修 申込書

記入日	年 月 日
-----	-------

ふりがな			性別 (○をつけて ください)	男 女
氏名	(姓)	(名)		
勤務先名	※法人名と事業所名を記入してください。			
勤務先 住所	〒		勤務先 電話番号	
配属部署 及び病棟		主な 診療科目		
勤続年数 (現在の勤務先) ※1	年	ヵ月	看護職 経験年数 ※1	年 ヵ月
現在の職位 (該当するものに○ をつけてください)	1. 副主任 2. 主任 3. 師長 4. 部長 5. その他( )			
生年月日	年	月	日	年齢 ※1 歳
自宅住所	〒			
電話番号 ※2			e-mail ※2	

※1: 2022年8月31日時点で算出してください。

※2: 必ず連絡が取れる電話番号・アドレスの記載をお願いいたします。

## 【個人情報の取り扱いについて】

- ◆記載された情報は、本研修の運営・管理・認定などにも使用いたします。
- ◆施設名・氏名を記載した受講者一覧表を各受講生に配布いたします。
- ◆研修中に写真を撮らせていただくことがございます。IMSグループ職員向け広報誌掲載・職員向けサイト掲載に使用いたします。ご了承いただけない場合、予めお申し出ください。

## 【申込について】申込期間内に郵送にてお申し込みください。

- 提出書類  
申込書(本紙)
- 提出先  
〒174-0051 東京都板橋区小豆沢3-3-2
- 問い合わせ・担当者  
IMSグループ本部事務局 看護部 佐々木・目時
- 申込締切  
令和4年8月31日(水)必着